

第16回

マクロライド 新作用研究会

Society of Novel Action of Macrolide

研究会ホームページURL

<http://www.macrolide.jp>

日時

平成21年

7月10日(金) PM5:00~PM7:30

11日(土) AM9:00~PM2:30(予定)

会場

北里大学

コンベンションホール

〒108-0072 東京都港区白金5-9-1

<http://www.kitasato-u.ac.jp/lisci/map/index.html>

プログラム第1日(7月10日)

●シンポジウム1 「インフルエンザ感染とマクロライド」

●特別講演1 「Chemokines and Lipid Mediators in Pulmonary Fibrosis」

Andrew D. Luster, M.D., Ph.D.

Division of Rheumatology, Allergy and Immunology Center for Immunology
and Inflammatory Diseases Massachusetts General Hospital

●意見交換会

プログラム第2日(7月11日)

●一般演題

●シンポジウム2 「新規12員環マクロライドEM900の抗炎症作用」

●シンポジウム3 「COPDとマクロライド」

●特別講演2 「Long-term Erythromycin Therapy Is Associated with Decreased
Chronic Obstructive Pulmonary Disease Exacerbations」

Terence Seemungal FRCP Ph.D.

Adult Medicine Unit Faculty of Medical Sciences University of the West Indies
St. Augustine Campus, Trinidad and Tobago

参加費

●5,000円

当番世話人

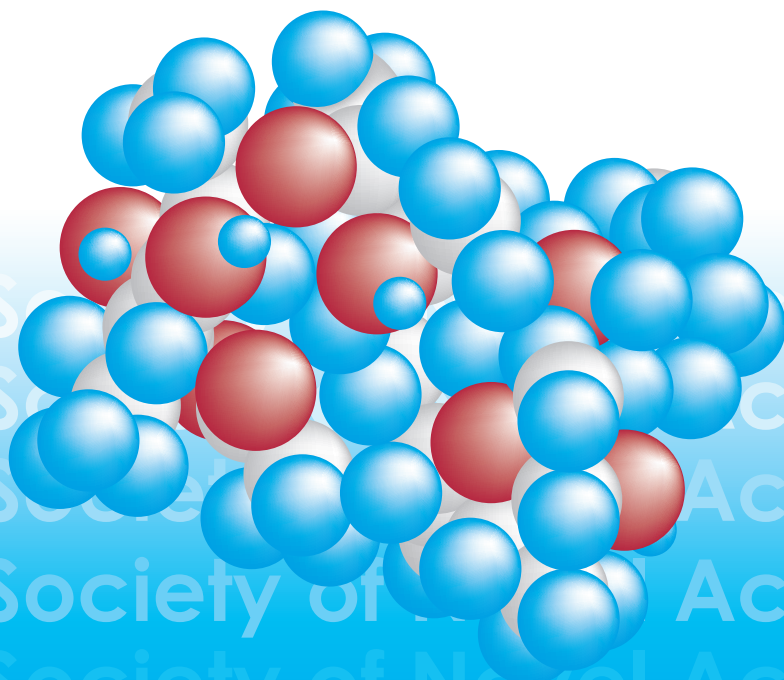
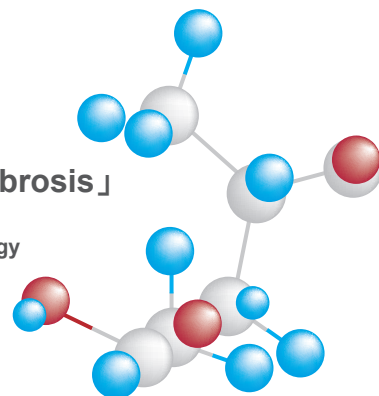
砂塚敏明 北里大学北里生命科学研究所
北里大学大学院感染制御科学府

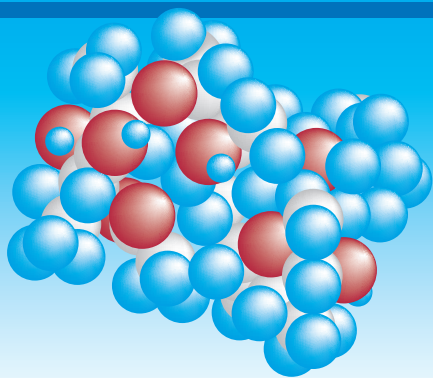
事務局

日本医科大学内科学講座 呼吸器・感染・腫瘍部門
担当: 阿部信二、臼杵二郎、吾妻安良太、橋本直美(学会秘書)
〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5
TEL: 03-3822-2131(内線7224)
FAX: 03-5684-0239
E-mail: macrolide@nms.ac.jp

共催

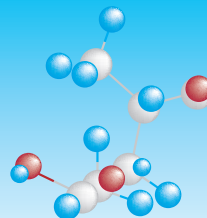
マクロライド新作用研究会 アボットジャパン株式会社
大正富山医薬品株式会社 ファイザー株式会社
サノフィベンティス株式会社





Society of Novel Action of Macrolide

マクロライド新作用研究会



Message

代表世話人メッセージ

1984年、わが国の難治性呼吸器疾患の一つであるびまん性汎細気管支炎(DPB)に対するエリスロマイシン(EM)療法が初めて報告されてから10年を経た1994年7月、第1回「マクロライド新作用研究会」が開催されました。

当時は、DPBに対するEM療法の作用機序の研究から、CAM、RXMなどの14員環系、さらには15員環系マクロライドの抗菌活性以外の薬理作用(新作用)の解明とその臨床応用の拡大が期待されていました。そのような中で、呼吸器内科・耳鼻咽喉科などの臨床領域の研究者と、薬理学・細菌学などの基礎領域の研究者が協同して研究を進めようと、この「マクロライド新作用研究会」が発足したのです。

本研究会発足から今日まで15年余りの間、本研究会は毎年7月に開催される年次研究会を軸に、わが国のマクロライド新作用研究の推進に大きな役割を果たしてきました。今日、マクロライド療法は嚢胞性線維症cystic fibrosisの治療をはじめ、世界的にも関心を集めつつあります。そして、呼吸器、耳鼻科領域における慢性気道炎症から様々な臨床領域に拡大し、ライノウイルスやインフルエンザ感染の抑制的効果、COPDの急性増悪防止など、社会的にもインパクトのある領域への臨床応用の可能性への期待が高まっています。

マクロライドの新作用に関心のあるすべての皆様が、気軽に参加して頂ける研究会を目指しています。

代表世話人 工藤 翔二

財団法人結核予防会複十字病院院長

日本医科大学名誉教授

Please
Access

マクロライド新作用研究会WEBサイト
<http://www.macrolide.jp>

過去開催の発表抄録をPDFでダウンロード可能
次回開催分の演題登録がWEB上で完了